



2023年10月26日

各位

会社名株式会社 P E G A S U S
代表者名代表取締役社長 美馬成望
(コード番号：6262 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員管理本部副本部長 金子貴司
(TEL. 06-6451-1351)

(訂正・数値データ訂正)
「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年7月27日に公表いたしました「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データも訂正となりますので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

また、同日付で下記の期間における四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますので、併せてお知らせいたします。

この度は、株主・投資家をはじめ皆様には、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 訂正の理由

当社の中国子会社であるペガサス(天津)ミシン有限公司及びベトナム子会社であるPEGASUS VIETNAM SEWING MACHINE CO., LTD. から当社への内部売上高について、連結会社間の内部取引消去に誤りがあることが判明いたしました。

当該誤謬による各段階利益への影響はございませんが、売上高への影響が認められるため、2024年3月期第1四半期における決算短信を訂正することといたしました。

2. 訂正の内容

(1) サマリー情報

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(訂正前)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	<u>5,348</u>	<u>△21.9</u>	250	△74.0	586	△51.0	391	△56.5
2023年3月期第1四半期	6,847	36.9	961	266.6	1,198	359.0	900	398.1

(訂正後)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	<u>4,661</u>	<u>△31.9</u>	250	△74.0	586	△51.0	391	△56.5
2023年3月期第1四半期	6,847	36.9	961	266.6	1,198	359.0	900	398.1

(2) 添付資料2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、底堅い個人消費やモノ不足の緩和などが急激なインフレによる景気の減速を和らげましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や一時は持ち直しの動きが見られた中国経済の停滞などにより、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン事業におきましては、アパレル需要を見極める動きが縫製産業に広がり、設備投資に対する慎重な姿勢が強まりました。オートモーティブ事業におきましては、半導体不足の解消が遅れる自動車産業の影響はあったものの、新規顧客の獲得や既存顧客からの新規部品を含めた受注増加などにより、業績は堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は53億48百万円（前年同四半期比21.9%減）、営業利益は2億50百万円（前年同四半期比74.0%減）、経常利益は5億86百万円（前年同四半期比51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億91百万円（前年同四半期比56.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(工業用ミシン事業)

工業用ミシン事業につきましては、縫製産業の設備投資に慎重な姿勢が広がり、売上高は35億45百万円（前年同四半期比34.4%減）、セグメント利益は3億18百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、底堅い個人消費やモノ不足の緩和などが急激なインフレによる景気の減速を和らげましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や一時は持ち直しの動きが見られた中国経済の停滞などにより、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン事業におきましては、アパレル需要を見極める動きが縫製産業に広がり、設備投資に対する慎重な姿勢が強まりました。オートモーティブ事業におきましては、半導体不足の解消が遅れる自動車産業の影響はあったものの、新規顧客の獲得や既存顧客からの新規部品を含めた受注増加などにより、業績は堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は46億61百万円（前年同四半期比31.9%減）、営業利益は2億50百万円（前年同四半期比74.0%減）、経常利益は5億86百万円（前年同四半期比51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億91百万円（前年同四半期比56.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(工業用ミシン事業)

工業用ミシン事業につきましては、縫製産業の設備投資に慎重な姿勢が広がり、売上高は28億58百万円（前年同四半期比47.1%減）、セグメント利益は3億18百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

(3) 添付資料5 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,847,185	5,348,658
売上原価	4,573,379	3,817,621
売上総利益	2,273,805	1,531,036
販売費及び一般管理費	1,312,195	1,280,625
営業利益	961,610	250,410
営業外収益		
受取利息	2,482	14,632
受取配当金	854	2,050
為替差益	247,213	335,507
助成金収入	1,706	-
その他	5,481	11,367
営業外収益合計	257,738	363,557
営業外費用		
支払利息	19,875	25,010
その他	1,432	2,140
営業外費用合計	21,308	27,150
経常利益	1,198,040	586,817
特別利益		
固定資産売却益	710	-
特別利益合計	710	-
特別損失		
税金等調整前四半期純利益	1,198,751	586,817
法人税、住民税及び事業税	334,049	302,200
法人税等調整額	△54,442	△128,738
法人税等合計	279,606	173,462
四半期純利益	919,144	413,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,927	21,658
親会社株主に帰属する四半期純利益	900,216	391,696

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,847,185	4,661,365
売上原価	4,573,379	3,130,328
売上総利益	2,273,805	1,531,036
販売費及び一般管理費	1,312,195	1,280,625
営業利益	961,610	250,410
営業外収益		
受取利息	2,482	14,632
受取配当金	854	2,050
為替差益	247,213	335,507
助成金収入	1,706	-
その他	5,481	11,367
営業外収益合計	257,738	363,557
営業外費用		
支払利息	19,875	25,010
その他	1,432	2,140
営業外費用合計	21,308	27,150
経常利益	1,198,040	586,817
特別利益		
固定資産売却益	710	-
特別利益合計	710	-
特別損失		
税金等調整前四半期純利益	1,198,751	586,817
法人税、住民税及び事業税	334,049	302,200
法人税等調整額	△54,442	△128,738
法人税等合計	279,606	173,462
四半期純利益	919,144	413,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,927	21,658
親会社株主に帰属する四半期純利益	900,216	391,696